

総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会
省エネルギー小委員会テレビジョン受信機
判断基準ワーキンググループ（第3回）
議事要旨

1. 日時：2021年1月29日（金）14:00～15:50

2. 場所：オンライン

3. 出席者

委員：相田座長、甲藤委員、関根委員、中村委員、三上委員、村上委員

オブザーバー：田島オブザーバー、峯石オブザーバー、青嶋オブザーバー
（一般社団法人電子情報技術産業協会）

事務局：江澤省エネルギー課長、内山省エネルギー課課長補佐、
神取省エネルギー課課長補佐、佐藤省エネルギー課係長

4. 議題：

- （1）テレビジョン受信機の目標年度、区分及び目標基準値について（案）
- （2）取りまとめ（案）について

5. 議事要旨

○議題（1）テレビジョン受信機の目標年度、区分及び目標基準値について（案）
目標年度及び区分について、了承された。目標基準値について、液晶2K以上4K未満、液晶4K以上、有機ELの区分は了承され、液晶2K未満の区分は、事務局から修正案（追加資料）を提示し、案②で了承された。
委員の主な意見は以下のとおり。

（区分について）

- ・現在の区分の64区分から4区分になったことは、消費者にとって年間消費電力量と省エネ基準達成率の関係が分かりやすくなって良いと思う。

（目標基準値について）

- ・液晶2K未満の区分だけ基準線の傾きが大きく異なる。液晶2K未満の画面サイズが大きい領域では、液晶2K以上4K未満よりも目標基準値が大きい状

態となっている。

⇒液晶 2 K未満の区分の目標基準値の修正案（追加資料）を提示し、案②で了承された。

（達成判定について）

- ・付加機能を達成判定で考慮し、一律の目標基準値とすることで、省エネ性能と省エネ基準達成率の関係が明確になり、消費者にとって分かりやすくなった。
- ・付加機能を目標基準値で考慮しないこと（達成判定で考慮すること）により、付加機能を搭載している製品の購入を阻害してしまうので、付加機能を目標基準値で考慮してほしい。
- ・付加機能を目標基準値で考慮すると、目標基準値がすごく多くなってしまい、それごとに省エネ基準達成率が出てくると消費者が製品を横並びで見た際に何をベースにした省エネ基準達成率が分からず混乱するのではないかと思うので、付加機能は達成判定で考慮したほうが良いのではないか。

⇒付加機能を達成判定で考慮し、一律の目標基準値とすることで、了承された。

○議題（２）取りまとめ（案）について

本日の検討結果を事務局にて反映させた上で、委員の確認後、座長に一任いただくことで了承された。委員の主な意見は以下のとおり。

- ・テレビジョン受信機はハイスペックになり、電力消費量が増加している印象である。脱炭素社会に向けて、機能を高める競争ではなく、省エネを進めるイノベティブな取組に期待したい。
- ・家庭の中でテレビジョン受信機のエネルギー消費量がどの程度かを示し、その上で省エネ性能を表示し、情報提供していくことが大切ではないか。

以上

お問合せ先

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課

Tel 03-3501-9726 Fax 03-3501-8396